



道づくりだより



183

2026.6-7

川本波多線 多田～港工区 一部区間完成！

～ Contents ～

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 主要地方道川本波多線 多田～港工区 一部区間完成！
～安全かつ快適な走行に向けて～ | 道路建設課
県央県土整備事務所 ... P. 1 |
| 2. 山陰道の整備に伴う交通状況について
「山陰道に交通が転換しています！」 | 高速道路推進課 ... 2 |
| 3. くにびき海岸大橋（出雲市）の長寿命化対策を行います！ | 農村整備課 ... 3 |
| 4. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ | 道路維持課 ... 4 |

主要地方道川本波多線 多田～港工区 一部区間完成！

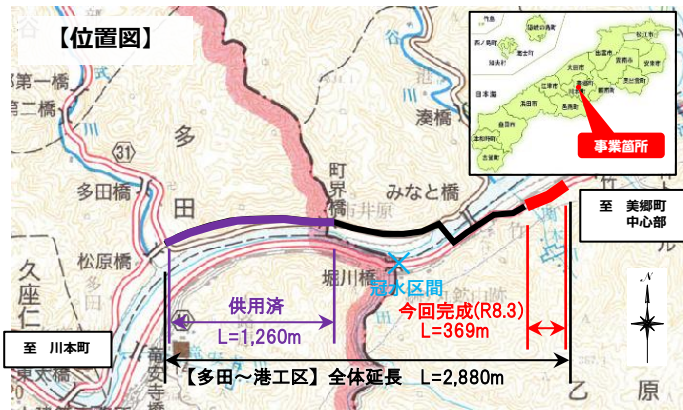
～安全かつ快適な走行に向けて～

（主）川本波多線は、邑智郡川本町内の国道261号から雲南市掛合町内の国道54号に至る幹線道路です。災害時の緊急輸送路であるとともに、川本町や美郷町など、県央地域の中心部を東西に結ぶ重要な役割を担っています。

しかし、川本・美郷町境付近においては、道幅が狭く車両同士のすれ違いが困難なうえ、見通しも悪いことから、車両の通行に支障をきたしている状況です。また、隣接する江の川の氾濫により度々冠水し、全面通行止めが発生しています。

このため、安全かつ快適な走行が確保されるよう、バイパス道路(L=2,880m)の整備を進めており、この度、新たに369mが完成しました。

今後も引き続き、早期の全線完成に向けて、鋭意事業を進めてまいります。



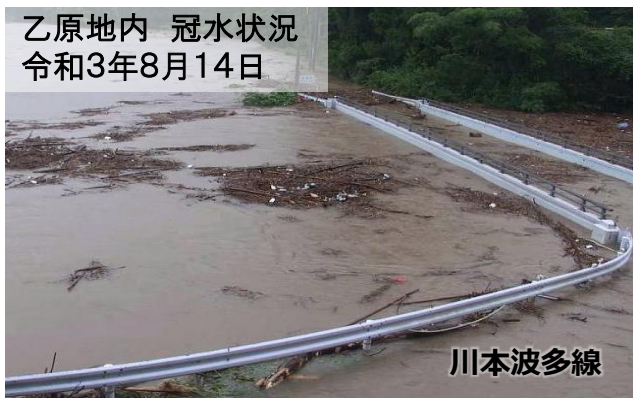
【整備前】○幅員が狭く、見通しも悪く危険

【整備前 R1.4】



○道路冠水による通行止めが度々発生

乙原地内 冠水状況
令和3年8月14日



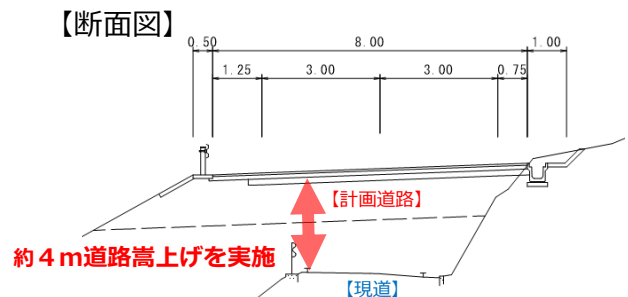
【整備後】○道路改良により安全な交通を確保

【整備後 R8.5】



○道路嵩上げにより、冠水リスク解消

【断面図】



山陰道の整備に伴う交通状況について 「山陰道に交通が転換しています！」

山陰道は、大田・静間道路、静間・仁摩道路が令和6年3月9日、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が令和7年3月2日にそれぞれ開通し、出雲IC～石見福光IC間が連続して繋がりました。また、令和8年3月28日には三隅・益田道路が開通したことで、県の東西間における移動の利便性が大きく向上しています。

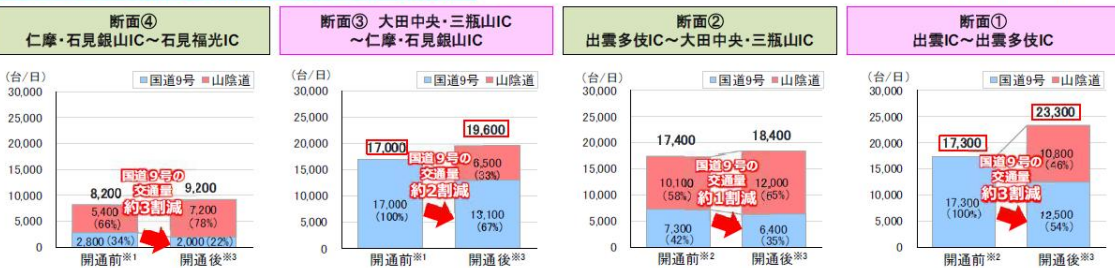
この開通による、国道9号と山陰道の交通量の変化についてご紹介します。

○ 山陰道 出雲IC～石見福光IC（開通後の交通状況（繋がって1年後））

- 令和7年3月2日（日）に出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が開通し、山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がりました。
- 令和5年度・6年度に開通した区間では、国道9号の交通量が約2～3割減少し、山陰道へ交通が転換しています。



■ 国道9号と山陰道の開通前後における交通量の比較



注）松江国道事務所
R8.5.19報道発表資料

○ 山陰道 石見三隅IC～遠田IC（開通後の交通状況（速報値））

- 令和8年3月28日（土）開通後、山陰道石見三隅IC～遠田IC間では、約8,200～8,800台/日の利用があり、国道9号と山陰道の利用割合では、約6～7割を山陰道が占めている。



国道9号と山陰道の開通前後における交通量の比較



注）浜田河川国道事務所
R8.4.17報道発表資料

くにびき海岸大橋（出雲市）の長寿命化対策を行います！

〔くにびき海岸大橋〕は、平成９年度～平成１４年度にかけて実施した「簸川西３期地区 県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業」により造成され、架設から２０年以上が経過しています。

橋梁点検の結果、部材の機能低下が確認されたため、今年度から長寿命化対策を実施し、施設機能を維持することで、農産物輸送の効率化と生活環境を守っていきます。



【くにびき海岸地区の概要】

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 通作条件整備
工期	令和８年度 ～ 令和１１年度
延長	くにびき海岸大橋 $L = 363.5\text{m}$
幅員	$W = 11.0\text{m}$
橋種	プレストレストコンクリート道路橋
上部工型式	ポストテンション６径間連続箱桁橋
事業費	４０４，０００千円

『道路ふれあい月間』推進標語決定のお知らせ

◇令和8年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

夕暮れの 一番星は 反射板

北海道 竹林 優佑 さん （小学生の部）

未来まで つないでいこう 道しるべ

京都府 山下 ひとみ さん （中学生の部）

続け未来に 地域の道路は たからもの

兵庫県 今北 眞奈美 さん （一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「続け未来に 地域の道路は たからもの」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『限りなく 安心安全 道続く』

埼玉県 本木 秀悟 さん

『ゴミ拾い 通学路への 恩返し』

埼玉県 坪井 穂果 さん

【中学生の部】

『安全に 渡れば次に 繋ぐ道』

神奈川県 石川 千智 さん

『その道で 笑顔と希望をバトンパス』

兵庫県 西村 奏音 さん

【一般の部】

『人々の 生活（くらし）の中に 生きる道』

三重県 竹内 光利 さん

『過積載 道路が痛い と 泣いてるよ』

東京都 井上 舞華 さん

◇毎年8月は、「道路ふれあい月間」です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場において広報誌、ホームページなどで応募を呼びかけています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。